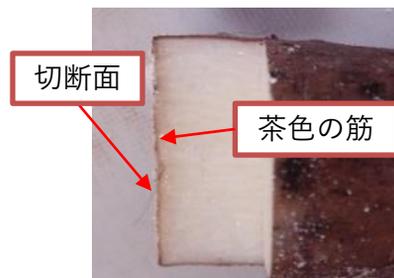
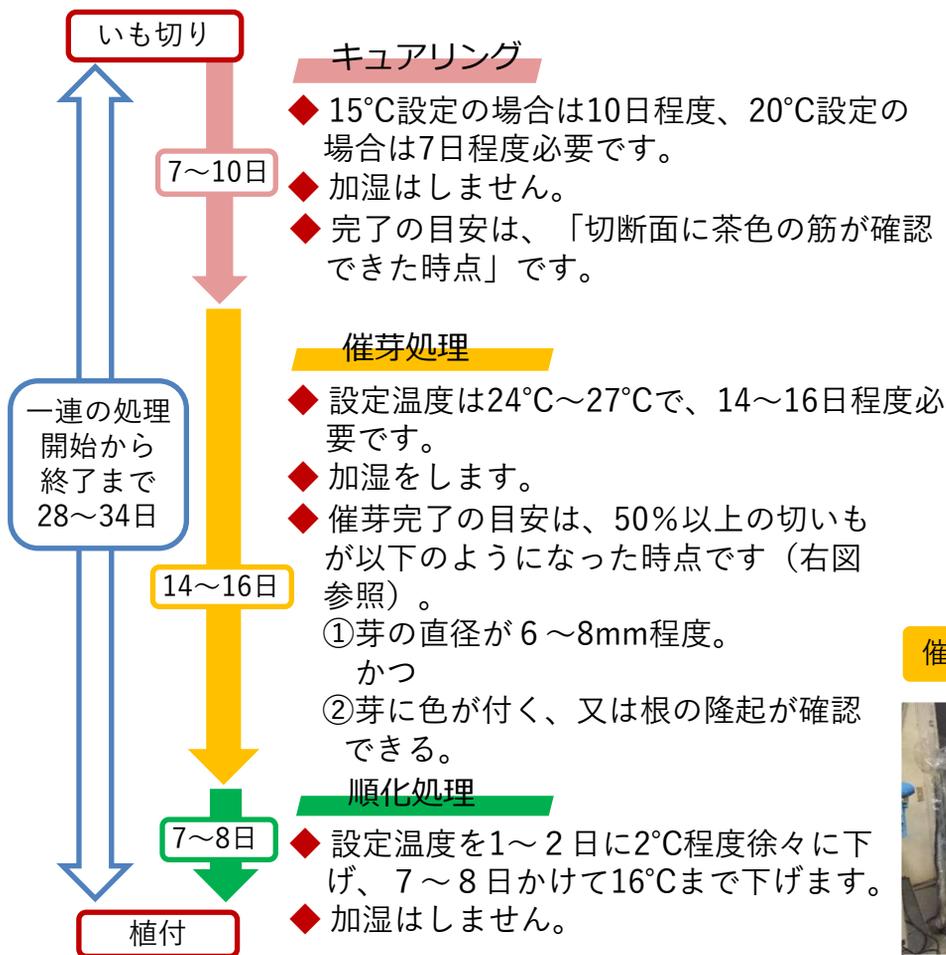


種苗増殖における切いもの利用について、スチーム発芽器を用いた催芽切りいもの作成方法とむかご等への増収効果を紹介します。

処理の流れ



キュアリング完了の目安



催芽完了の目安となる芽の状態



スチーム発芽器

萌芽、むかご収量、成いも収量への処理の効果

◆ 萌芽率、むかご収量、成いも収量は一連の催芽処理により増加します。

	一連の処理あり	キュアリング、催芽のみ	キュアリングのみ	処理無し
萌芽率 (%)	99~100	100	89	61~76
むかご収量 (面積当たり・処理無し対比)	200	190	150	100
成いも収量 (面積当たり・処理無し対比)	140	130	135	100

利用上の注意点

- ◆ 種いもの腐敗防止のため、キュアリング前に種いも消毒と切口の消石灰塗布を行いましょう。
- ◆ 過湿による腐敗等を防止するため、キュアリングから順化までの処理期間を通じて、1~2日に1回・30分以上の換気を行いましょう。
- ◆ 切いもは1個当たり100~150g程度で、10a当たり4,000~6,000個（400~600kg）位必要です。